

**大豊町の概要**

位置	東経133度37分 北緯33度56分
面積	320.54平方軒 東西 32軒 南北 28軒 部落数 86
人口	9,953 男 4,734 女 5,219
世帯数	3,435(1月末日現在住民基本台帳調)

# 大豊

館報

昭和56年2月20日発行

全世帯配布

編集 館報大豊編集委員会  
発行 大豊町中央公民館  
印刷 高知印刷株式会社

## 文化財防火デー

積雪の中  
立川御殿(旧番所書院)で  
防火訓練



一月二十六日は恒例の「第二十七回文化財防火デー」に当ります。「文化財防火デー」の趣旨は、文化財を火災、震災その他の災害から守るため、この日を中心として全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護思想の高揚を図ることにあります。大豊町ではこの防火デーの行事の一つとして、町消防団、嶺北消防本部、大豊出張所、立川分団立川部、四国電力、等の協力により、国の重要文化財立川番所に於て防火訓練を実施しました。



訓練に出動した立川部団員、嶺北消防署員と関係者

当日は、立川番所(御殿)から出火の想定で、嶺北消防署、大豊町消防団立川分団立川部団員出動による消防訓練が果敢に実施された。立川番所(御殿)は現在修復のための工事が実施されており、出動した団員、地元部落民、嶺北消防と息のあった消火活動が、町消防団幹部、町消防委員の方、教育委員会職員、また工事関係者の見守る中実施された。十一時立川での訓練実施後、消防委員外関係者による、町内文化財の防火施設点検が行われた。

## 56年消防団出初式

厳寒の中農村広場で  
団員三三四名出動

大豊町消防団では一月十八日、大杉中学校横の農村広場で恒例の出初式を行った。氷点下の厳しい寒さの中、団員は、作業服、略帽、白カッターシャツに紐のネクタイをキリッと締め集合。国旗掲揚、黙とう、町長以下幹部の人員服装点検及び機械器具点検あり、分列行進の後、表彰伝達、町長及び団長訓示、来ひん祝辞、国旗降納し解散した。解散後は、各分団(功績章)9名

高橋義繁、森田忠徳、大原信一、徳弘秀行、小笠原東、小松豊太郎、小笠原昭八、小笠原盛、大家成利  
高知県消防協会長表彰(功績章)12名  
小笠原利雄、吉村義雄、北村茂、中村孝也、依光和、伊藤伸一、中西章雄、坂本進、三谷利夫、森下保茂、北村岩亀、三谷信仁  
高知県消防協会長表彰(功績章)6名

長瀬登夫、西岡元親、岡政利、猪野政次郎、山内喜栄、秋田耕一  
嶺北消防団連合会長表彰(永年功績章)8名  
本山茂俊、小笠原盛、森田忠徳、大家信一、大家成利、笹岡春敏、高橋義繁、小笠原東  
嶺北消防団連合会長表彰(功績章)24名  
上村文男、上村典義、北窪博章、小笠原克安、西谷永保美、中西康夫、豊原一展、徳弘鉄夫、吉川勝義、西岡啓、松岡幸男、重森五郎、小笠原和

男、福永慶次郎、西岡義夫、西山良、笹研二、桑名正司、久保利泰、桑名賀博、石川賀貞  
大豊町長表彰(功績章)12名  
西村良穂、岡崎晴敏、下村信一郎、桑名賀博、石川賀貞、田口久博、中西康夫、西谷博博、原一、吉川勝義、西岡啓、小笠原和男  
大豊町長表彰(功績章)1名  
豊永幸利  
大豊町長表彰(功績章)1名  
豊永公  
大豊町長表彰(功績章)2名  
徳弘秀行、真鍋重義

退職団員感謝状  
高知県消防協会長(感謝状)2名  
西村利雄、貞光常美  
嶺北消防団連合会長(感謝状)19名  
木村秀夫、小笠原久穂、山中正彦、佐々木陽喜、森本初男、藤村正直、中西金保、小笠原良延、池添繁政、三谷利夫、古地裕和、小松憲一、西村利雄、八木良一、小笠原時

盛、貞光常美、徳弘洋一、桑名定一、故上村盛正  
大豊町長(感謝状)16名  
木村秀夫、佐々木陽喜、中西金保、三谷利夫、桑名定一、森本初男、永野直幸、前田光盛、中村孝也、高橋義繁、鎌倉利美、吉川勝久、石川靖朗、森下幸夫、大家康男、豊永吉男  
大豊町消防団長(感謝状)2名  
徳弘洋一、秋山豊晴

## 新成人102名 社会人

としてスタート

大人の自覚と責任にやや緊張気味

新たに成人となり、大人になったことを自覚し、責任を持って生き抜こうとする青年を祝います。成人式が、去る一月十五日農工センター文化ホールで行われた。「簡素な服装で」の呼びかけにもなんのその、今年も又振袖をなびかせての派手やかさ、翌歳・袴姿もあり、なかなかの雰囲気でした。



華やかな会場



祝辞を述べる町長

と、教育長の式辞、町長あいさつの中で、町は農林業振興に全力を傾注して行くので若者も共に町の発展に力を尽してほしいとのべた。教育委員長・岡林良治氏から代表に記念品の贈呈があり、来ひんの祝辞、祝電は「好きな大人、きれいな大人」でした。グループ毎に発表があり、大人にたいして厳しい注文も出ています。抽せん会で賞品もあり、楽しくすごしました。☆カメクラクラブが大活躍の抱負を出すことになり、一人一人の写真をカメラクラブの面々が腕にヨリをかきつけてしんちように撮影。午後二時すぎ全体で記念写真を撮り全日程を終了しました。



# 農林業振興めざして 役場機構一部改革

## 一月一日付で異動発令

大豊町長 門田盛一郎  
 助役 小笠原武英  
 収入役 三浦紀秀  
 教育長 重森元亀  
 固定資産評価員 秋山司  
 収入役に三浦紀秀氏就任  
 山中万石氏勇退

大豊町長門田盛一郎は新し、本格的に取り組む体制の換替にもつて、本町より役場の配置は次のとおりである。一月一日付を以り、(配置図は主監までと)して役場の機構の一部改革した。

出納室	住民課	農林振興課	行政課
収入役 秀紀 三浦 出納室長 信量 杉本	住民課長 彦英 小笠原 (福祉担当)課長補佐 阿波井清次郎 (保険衛生担当)課長補佐 都築幹夫 課長補佐兼戸籍住民登録班長 三村利重 主監 前田集一 福祉係長 福崎隆子 主監 横田敏子 水道係長 西村弘 保険係長 西村勝男 衛生係長 杉本周二 主監 安井長由 保育所長 森下良尾	農林振興課長 信俊 小笠原 課長補佐兼農政班長 阿佐嘉浩 林政班長 三谷岳生 主監 小笠原良延 主監 三谷隆啓	行政課長 宏倉 鎌倉 (企画担当)課長補佐 秋山正治 (総務担当)課長補佐 小笠原武生 財政係長 原勉 庶務係長事務取扱 小笠原武生 主監 岡崎桃江 地籍調査係長 吉村文男 税務係長 吉永礎猪 企画商工係長 小笠原美砂 行政課付土地開発公社主査 平尾美砂 振興計画班長 山崎博資 主監 石安央
支所	建設課	建設課	建設課
支所長 子美 西岡富 支所長 晴秀 永野永 支所長 清一 今東豊井	建設課長 西岡仁司 (事務担当)課長補佐 笹岡桂助 (技術担当)課長補佐 岡崎聡 班長 砂防五郎 主監 森中英栄 土木係長 松共下健一 農林土木係長 上村幸一	建設課長 西岡仁司 (事務担当)課長補佐 笹岡桂助 (技術担当)課長補佐 岡崎聡 班長 砂防五郎 主監 森中英栄 土木係長 松共下健一 農林土木係長 上村幸一	建設課長 西岡仁司 (事務担当)課長補佐 笹岡桂助 (技術担当)課長補佐 岡崎聡 班長 砂防五郎 主監 森中英栄 土木係長 松共下健一 農林土木係長 上村幸一
議 会	農 委	農 委	農 委
議長 孝義 寛 農委選管監査 明子 近藤 上村 佐智	農委選管監査 明子 近藤 上村 佐智	農委選管監査 明子 近藤 上村 佐智	農委選管監査 明子 近藤 上村 佐智
教 委	教 委	教 委	教 委
教育長 元亀 重森 給食センター所長 繁 高松 教育次長 昭十郎 佐々木 公民館長 明 中川 石上 社会教育行政 村上 上	教育長 元亀 重森 給食センター所長 繁 高松 教育次長 昭十郎 佐々木 公民館長 明 中川 石上 社会教育行政 村上 上	教育長 元亀 重森 給食センター所長 繁 高松 教育次長 昭十郎 佐々木 公民館長 明 中川 石上 社会教育行政 村上 上	教育長 元亀 重森 給食センター所長 繁 高松 教育次長 昭十郎 佐々木 公民館長 明 中川 石上 社会教育行政 村上 上

## 農林業振興懇話会開催 各機関から活発な意見

### .....大豊町農林業の未来像は.....

### 主催団体名

- 大豊町議会 議長 天坪 農業協同組合長
- 大豊町農業委員会 会長 大豊町 森林組合長
- 大豊町農業協同組合 組合長 大豊町 町長

一月一日付で新しく農林振興課が設置されたのを機に、一月十日町内各団体と農業関係者先機関が一堂に会し農林業振興懇話会が約百余名出席のもとに開かれた。

まず新しい農林振興課長小笠原俊信の開会のことばのあと、本会発起人を代表して、北村寿夫町議会議長の挨拶があり、議長は、第一次産業振興の必要性について次の点をあげた。

・国際的エネルギー危機の問題(石油の問題)  
 ・大豊は立地条件的に第一次産業以外にない。  
 ・本町の人口高齢化による労働力低下による諸問題。  
 ・大豊の農林業は県下でも中以下である。

以上により大豊は昔の姿にかえり農林業の振興を図るべきである。本会は大豊の各機関の第一線にある者が、今後の大豊をどう考え、農林業をどうするかという事を真剣に討議し、生の意見をぶつけあつて、それを踏まえて行政機関はひとつの方向づけをし、住民に伝えていこうというのが会の目的であるとのべた。ひき続き、門田町長、西岡農議を代表し議長団を代表して北村寿夫氏からあいさつがあり討議に入った。

## 部門別に委員選出

### 今後は諮問機関として

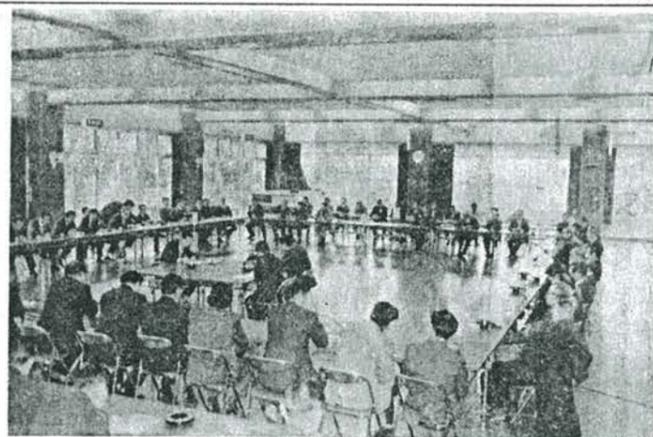
### 研究討議

まず始めに、問題提起の販売ができるが、山間急傾斜地で経営規模も小さいたに、一月十日町内各団体と農業関係者先機関が一堂に会し農林業振興懇話会が約百余名出席のもとに開かれた。

まず新しい農林振興課長小笠原俊信の開会のことばのあと、本会発起人を代表して、北村寿夫町議会議長の挨拶があり、議長は、第一次産業振興の必要性について次の点をあげた。

・国際的エネルギー危機の問題(石油の問題)  
 ・大豊は立地条件的に第一次産業以外にない。  
 ・本町の人口高齢化による労働力低下による諸問題。  
 ・大豊の農林業は県下でも中以下である。

以上により大豊は昔の姿にかえり農林業の振興を図るべきである。本会は大豊の各機関の第一線にある者が、今後の大豊をどう考え、農林業をどうするかという事を真剣に討議し、生の意見をぶつけあつて、それを踏まえて行政機関はひとつの方向づけをし、住民に伝えていこうというのが会の目的であるとのべた。ひき続き、門田町長、西岡農議を代表し議長団を代表して北村寿夫氏からあいさつがあり討議に入った。



懇話会で熱心に討議する皆さん

また、吉川茂行氏から農協の農林業振興にたいし、すことなく、町の行政にも生かすため、林業、園芸、畜産、養蚕の部門別に各機関から、一名の専門委員を選出し、町の諮問機関の役割をしていくことになった。

本町の農業は大きな転換期にあり、行政も、農民も、関係機関もこのさい一体となつて真剣に取り組む必要が感じられる。と発言した。松生和田見は一致した。植北は良質米の産地でもあり、減反の中でも有利な

## 婦人農業従事者

### 研究集會も開かれる

(テーマ)

### 山村農業をさぐる婦人の役割

右のようなテーマを掲げ、婦人の立場からの今後の本町の大豊地区の婦人の農業問題が真剣に討議され、それぞれの部門別日浦の小笠原敏子さん)に話題提供者の発表があり



## 全国表彰受賞

### 高橋俊郎さん 全国体育指導委員連絡協議会より功労者として



以来委員として活躍され、又本町の体育会創立のため尽力され町内はもとより全県下的にも温厚、篤実な人柄は広く認められ人望も厚く、県民又、町民総スポート振興に対し献身的な努力を続けてこられた方です。

大豊町体育会の顧問である高橋俊郎氏が長年の体育指導委員としての功績が認められ、昨年の十一月、島根県で開かれた全国体育指導委員表彰集會の席上表彰されました。高橋さんは県下初の体育指導委員制度発足です。

# 十年後の大豊町

## 懸賞作文審査講評

### 一般の部

後の未来像を描ききる大きなレポーターが欲しかった。

### 高校生の部

懸賞作品2編。入賞作文は、全体にやや平板ながら、論旨がはっきりしている。工業、農業、福祉等の分野にペンを進め、若者らしい夢を持つ作文であった。

### 中学生の部

13編の作品は、かなりの水準を保っていて、大豊町の現状を、町十年後の大豊町の構想を、今日の現実を立ちながら、大きなビジョンとして描く作品が見当らなかつた。産業という一つの分野を徹底的に掘り下げたものでもいいし、また、過疎化、交通、農業、福祉等の分野の分析による構想図でもいいが、とにかく、町十年後の大豊町の構想を、今日の現実を立ちながら、大きなビジョンとして描く作品が見当らなかつた。

# 入賞作品「中学校の部」

大杉中二年 小笠原千秋



私の想像する十年後の大豊町は、今のままでいくと人口が現在よりまだまだ下まわらなかつた。なぜ人口が減るのか。それは、ここ大豊には働く場が少ないことだ。だから過疎化を防ぐ為に、まず第一に働く場を少しでも多く作ることに大切だと思ふ。

例え、川口の工業団地に工場や会社に進出してもいい、働く場をふやしてもいい。しかし、工場側としてみれば、多くの資本をつぎこんで工場を作っても、いろいろな条件によって思うように利益が上がらないかもしれない。こういうことになると、工場としてもやっつけに、それで、雇った人達に対する給料も安くなることを考えられる。そうすると、働く人達は少しでも賃金の高い方へ

# 町づくり 地域からの出発

大豊町商工会から



大豊町商工会では、高知市の大豊町を訴え、岩手県農工商連合会の共催で去る一月二十二日、商工会々議室で「まちづくり地域からの出発」と題して、日本から来た大豊町の今後の問題点や高齢者社会の対応などについて、米田巖氏による講演会を開催した。氏は講演の中で、商工業者も連帯共同として町づくりに積極的に参加する



かんばつてます 物価の安定

# 福祉の町づくり

## 「大豊園」(養護老人ホーム)

### 一日園長に吉田トクエさん

#### 一日園長を体験して

大豊町民生児童委員 吉田トクエ (57歳)



「大豊園」(養護老人ホーム)は、昨年の十一月二十三日、勤労感謝の日、大豊園開園七周年記念行事として、大豊町社会福祉協議会後援のもとに民生児童委員による一日園長、入居者の家族の方や、民生児童委員、婦人会役員、連合青年団役員の方々に「高齢化社会」に対する施設「大豊園」の施設整備と在宅福祉との整合性「地域福祉と老人ホームの使命」と題しての座談会も開かれた。この座談会にいられた時代に、将来確実にやってくる、それは高齢化社会である、大豊園でも「福祉の町づくり」のモデル地区指定を受けているところであり、地域社会の視点と社会福祉全般の整合性ある発展をめざして、高齢化社会に対応する福祉の町づくりをめざして暖かい心でふれあう一日でした。一日園長を務められた吉田

事の大切さを訴え、岩手県農工商連合会の共催で去る一月二十二日、商工会々議室で「まちづくり地域からの出発」と題して、日本から来た大豊町の今後の問題点や高齢者社会の対応などについて、米田巖氏による講演会を開催した。氏は講演の中で、商工業者も連帯共同として町づくりに積極的に参加する

「大豊園」(養護老人ホーム)は、昨年の十一月二十三日、勤労感謝の日、大豊園開園七周年記念行事として、大豊町社会福祉協議会後援のもとに民生児童委員による一日園長、入居者の家族の方や、民生児童委員、婦人会役員、連合青年団役員の方々に「高齢化社会」に対する施設「大豊園」の施設整備と在宅福祉との整合性「地域福祉と老人ホームの使命」と題しての座談会も開かれた。この座談会にいられた時代に、将来確実にやってくる、それは高齢化社会である、大豊園でも「福祉の町づくり」のモデル地区指定を受けているところであり、地域社会の視点と社会福祉全般の整合性ある発展をめざして、高齢化社会に対応する福祉の町づくりをめざして暖かい心でふれあう一日でした。一日園長を務められた吉田

# 「青年の翼」 ニュージーランド・オーストラリア 訪問

## — 大豊町から小笠原徳孝君が参加 —

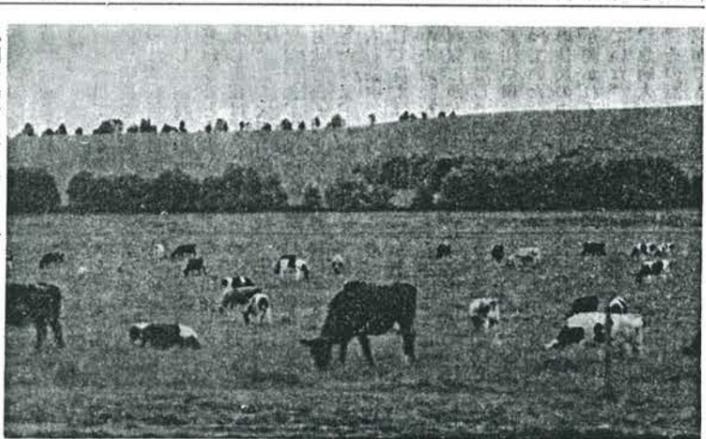


### 「青年の翼」に参加して

小笠原 徳孝

昨年十月二十五日から十五日間にわたりオーストラリア・ニュージーランドを旅して走り回りながら数えきれないくらい、日本とは全く違う広大な大陸の美しくまたきびしさなども感じさせる風景などを見て感動のしつばなしでした。それから、幸せな事にあちらの農家に泊まるという民泊があり、少しは生活を知ることが出来ました。行く前まで、自分は民泊が一つの楽しみであり、その一面不安もたくさんありましたが、言葉の面、あちらの生活様式はどんなだろう？と不安と期待の入りまじった気持ちで農家に着きました。家に着くなり家族全員で大歓迎してくれました。

中内知事を団長とする「高知県青年の翼」が去年十月二十五日から十一月八日までの十五日間にわたって、一行四十一人でオーストラリア・ニュージーランドを訪問しました。「青年の翼」は、次代を背負う本県の青年たちを海外に派遣し見聞を広め、これからの地域活動に役立たせようとするもので、昨年の中国に続いて二回目は、昨年中



ニュージーランドの放牧地

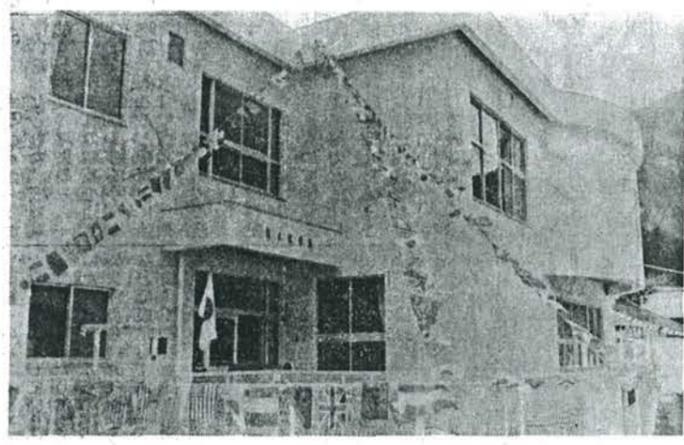
その家の男の子は家に帰るなり自分の手を引っぱって行って牛小屋などいろいろ説明してくれました。それにみんな陽気な人はばかりで、すぐとけこむことが出来た。特に奥さんはユイモアたっぷりで家庭の中を一段と明るくしています。家庭の中では奥さんがリーダーシップをとっているように見えました。しかし、奥さんが言っていました。「家庭は私が、仕事の面では主人が」というように立場をちゃんとわきまえています。この民泊で仲間の中には、「言葉は通じなくてもちゃんと通じる」といっている人がいました。自分もそうは思いますが、しかし、言葉が話せれば、もつとすばらかったのではないかと、言葉の大切さを感じ自分の英語の不勉強を反省しています。



オーストラリアでの民泊した家族と

この旅に参加出来て大変勉強になりました。高知県の中でさえ、西から東にかけて、あそこではあんな人がこんな生活をしているなど、いろいろな事を知ることが出来た。自分も、自分の生活など全く無視し、他の所をばかり考え、その場を逃げるばかり考えていた。その土地に合った牧畜生活を行なうようになったのだ。これは、自分自身で決めたことではない。自分自身で決めたことではない。自分自身で決めたことではない。自分自身で決めたことではない。

## 豊永保育所 新築落成



新築されたモダンな豊永保育所

豊永保育所は昭和二十一年の設立で今日まで約二十五年を経過した。老朽化が激しく、総工事費五千三百五十五万円で鉄筋コンクリート二階建て、延べ面積三六〇平方メートル、暖房はもちろんだが、備品の設備も十分な配慮がなされ、児童の好評を得た。設計は高知市の野瀬設計事務所が担当。施工業者は黒岩工業株式会社です。大豊町社会福祉協議会会長 鎌倉登氏は挨拶の中で、当保育所は沢山の人の善意の結果であり、私共はこの善意を無にしない様最善の努力をします、この地域の今後の人づくりに多くに貢献したい。本事業に御協力と御指導を下さった関係者各位に衷心から御礼を申し上げると結び、神事の後の記念の餅投げや祝賀会が行われた。

### 住民課からお知らせ

#### ごみ・ちり・かん・びんなどは 次のことを守って下さい

- 一、廃棄物(ごみ・ちり・かん・びん)の不法投棄の禁止について  
生活水準の向上と産業発展に伴ない、廃棄物は年々増加しているが、特に国道、県道、林道等の植林の中や空地に、心ない者がちりやかんを投げ捨てています。大豊町には焼却処理施設が葛原にあり充分で、この施設を充分に利用するに、廃棄物の不法投棄を絶対に行わないようにお願いします。
- 二、ごみ処理について、次のことを必ず守って下さい。
  - (一)袋にごみを入れる場合は、必ず蓋を閉めること。
  - (二)袋の口はきちんと括る。
  - (三)袋に氏名を記入すること。
- 三、ごみ処理場について、次のことを必ず守って下さい。
  - (一)ごみ処理場には、必ず蓋を閉めること。
  - (二)ごみ処理場には、必ず蓋を閉めること。
- 四、可燃物(ごみ・ちり等)の収集日  
毎週月、木曜日(東豊永、大砂子、川戸地区)  
毎週火、金曜日(天坪、大杉、立川地区)  
毎週水、土曜日(穴内、大田口地区)

### 蚕繭共済の制度が変わります

#### 大豊町農業共済組合

このたび蚕繭共済制度が一部改正され、昭和五十六年より実施されます。その主な点は、①引受方式の改正、②引受額の改正、③引受額の引上げ、④引受額の引上げ、⑤引受額の引上げ、⑥引受額の引上げ、⑦引受額の引上げ、⑧引受額の引上げ、⑨引受額の引上げ、⑩引受額の引上げ、⑪引受額の引上げ、⑫引受額の引上げ、⑬引受額の引上げ、⑭引受額の引上げ、⑮引受額の引上げ、⑯引受額の引上げ、⑰引受額の引上げ、⑱引受額の引上げ、⑲引受額の引上げ、⑳引受額の引上げ、㉑引受額の引上げ、㉒引受額の引上げ、㉓引受額の引上げ、㉔引受額の引上げ、㉕引受額の引上げ、㉖引受額の引上げ、㉗引受額の引上げ、㉘引受額の引上げ、㉙引受額の引上げ、㉚引受額の引上げ、㉛引受額の引上げ、㉜引受額の引上げ、㉝引受額の引上げ、㉞引受額の引上げ、㉟引受額の引上げ、㊱引受額の引上げ、㊲引受額の引上げ、㊳引受額の引上げ、㊴引受額の引上げ、㊵引受額の引上げ、㊶引受額の引上げ、㊷引受額の引上げ、㊸引受額の引上げ、㊹引受額の引上げ、㊺引受額の引上げ、㊻引受額の引上げ、㊼引受額の引上げ、㊽引受額の引上げ、㊾引受額の引上げ、㊿引受額の引上げ、

まきわりは楽しい。何も考えず、黙々と割る、心が落ち着く。我が家は裏山の薪が風呂の燃料。木にもいろいろタチがある。すうっと一押しで割れる木、節がゴテゴテあってひねくれた木、間にも同じだ。どんな木でも柱に板に抗になつたり、みんな一応の役目は果たしている。人にもそれぞれの特色がある。それを生かして働き燃焼しつくすことができた。これはしあわせだなあと思ふ。まきわりは楽しい。石川